

ひし時、木梨真人といへるもの、御船へ水を獻しより水貢といふ義にて、水調の郡名を得たりともいひ傳れど、其事國史に見へず、延喜式、倭名抄等の諸書、皆御調に作れり、當郡は今の藩府廣島の東十五里にありて、東北は福山領に接く、廣六里餘、東は後地村より西は泉村に至る、海上に、因島、向島などありて、皆當郡に屬す、四隣、東は沼隈郡、東北は蘆田郡、二郡共に福山領、西は豊田郡、安藝國、北は世羅郡、南は海上にて伊豫國に接く、三原尾道も皆當郡の内なれども、所管異なれば地志もまた別にす、今後地村を以て郡本とす、榜示嶺に、福山領分界の石表を立、番所を置る、○下略

〔萬葉集 十五〕備後國水調郡。長井浦泊泊之夜作歌三首 ○歌略

世羅郡

〔藝藩通志 百五 備後國世羅郡〕疆域形勢 風氣附

世羅郡は國の中央にありて、今の藩府廣島を去ること十六里許、廣八里、東は小谷村、枝郷、八田原谷より、西は上野山村に至る、表三里半、南は上徳良村より、北は徳市村に至る、四隣、東南は御調郡、東北は甲奴蘆田二郡に接し、北は三谿郡、西は三次郡、西南安藝國豊田郡なり、甲山町を以郡本とす、○下略

〔日本後紀 十三 桓武〕延曆二十四年十二月壬寅、備後國 ○中略 世羅、三谿、三次等八郡、調糸相換、鍛鐵、

三谿郡

〔藝藩通志 百十一 備後國三谿郡〕疆域形勢 風氣附

三谿郡は、名義未詳、或は水谷深谷などの義ならむか、或はいふ當郡郷名に古三谷といへるあり、其地三箇の谷あるを以郷の名とす、因て遂に一郡の總稱ともなりしにやと、地は備後の中央少し西にありて、今の藩府廣島を去ること、東北十六里許、廣四里三十三町餘、東は灰塚村より、西は有原村に至る、表四里三町餘、南は辻村より北は和知村にいたる、四隣、東は甲奴郡、南は世羅郡、西は三次郡、此は三次惠蘇、三上三郡の界なり、吉舎を郡本とす、○下略

〔日本靈異記 上〕贖龜令放生得現報緣第七